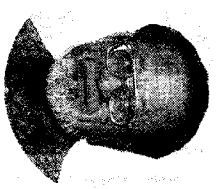
戦後沖縄救った「豚輸送」

募金の領収証見つかる

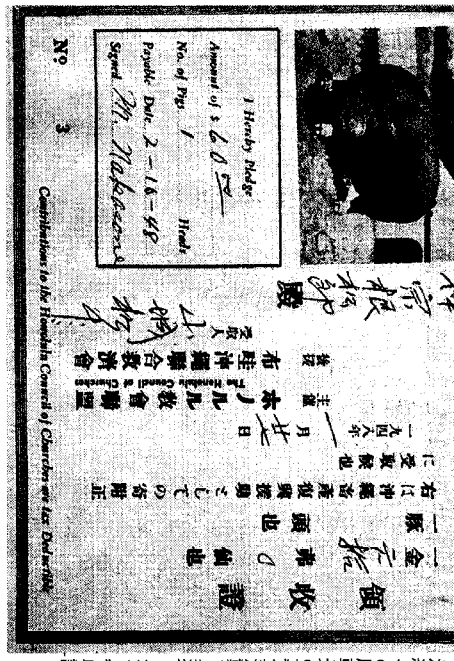
ハワイ ロバート伸宗根さん父宅で

沖縄の窮状を救うハワイの県出身者

沖縄に豚を送るための募金活動の領収証が見つかった。ハワイ・ホノルルのロバート伸宗根さん（六一）宅で、父親の故ジョン・B伸宗根さんが一九四八年に豚一頭を購入するために発行したものだ。ジョンさんは戦後、ハワイの県出身者らでつくる「世界ウチナーンチュ会議」（ウチナーンチュは沖縄の人の意）の創設者の一人。ロバートさんは「父が沖縄の人たちのために豚を送ったことを誇りに思う」と話している。



ロバート伸宗根さん



沖縄への豚輸送の募金活動で発行された領収証

領収証は一九四八年一月廿七日付。伸宗根さんの父・松郎さんが、豚購入のために沖縄救済ハワイ教会連盟と布哇連合教会が行った募金活動で、九五年死去）が、豚購入のために沖縄救済ハワイ教会連盟と布哇連合教会救済委員会に六十ドルを寄付した際に発行されたものとみられる。領収証は「3NO」で、受取人の松郎さんと寄付金額（沖縄医療救済）の名が記されている。

教済連盟の医師（沖縄医療救済）の名が記されている。

山城松十さんは「生前、伸宗根さんから沖縄へ豚を送ったことを聞いたが、領収証を見るのは初めて。そのほか衣類などを箱に詰めて送ったことを覚えている」と話している。

沖縄の農産復興援助を目的とした豚の輸送は四七年十二月から、ハワイ在住県出身者の間で取り組まれた。募金活動で豚の購入資金四万七千ドルを集め、米本国で豚五百匹を購入。同年八月、軍用船で沖縄に輸送した。

伸宗根さんの父親宅にハワイで保管されていた。

ロバート伸宗根さん（創設者のジョン・B